

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2025 年 11 月 1 日 ～ 2025 年 12 月 20 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	64	(回答者数)	48
○従業者評価実施期間	2025 年 11 月 1 日 ～ 2025 年 12 月 20 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026 年 1 月 10 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援の提供 (こどもを理解した個別支援計画の作成)	モニタリング会議を定期的に実施し、全ての職員から意見を聞きとるのと同時に、こども本人と保護者のニーズを反映させ作成している。	個別支援計画の更新時に限らず、児童発達支援管理責任者が保護者と面談したり、こどものニーズを聴く機会を意識的に作っていく。
2	保護者への説明等 (契約時に行う運営規定や支援プログラム等の説明)	契約時に説明時間を十分確保している。また、不明点がないか確認し、質問があった際も誠意をもって対応している。	引き続き、安心して利用していただけるよう、丁寧な説明を行っていく。
3	満足度 (安心感)	その時のこどものコンディションを見ながら、必要以上に負担をかけないように活動内容を臨機応変に変更している。	引き続き受容的な関わりを意識していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備 (主に音に関わる環境整備)	個室ではなく、パーティションで区切られている活動スペースのため、他のブースで活動している利用者の声が聴こえやすい環境となっている。	同時間に他児が活動している場合は、声の音量を調整し配慮していく。
2	適切な支援の提供 (地域の他のこどもとの活動機会の提供)	個別療育という特性上、保護者から特にご要望をいただく機会がない。	地域の保育園や幼稚園にボランティアで出向くイベントを企画していきたい。
3	非常時等の対応 (避難訓練実施の情報開示)	避難訓練は毎月実施しているが、全ての保護者に伝わるような発信はできていない。	避難訓練の実施報告をSNSやHPを通して発信し、安心して利用していただけるよう努める。

公表日

2026年2月15日

事業所名

こどもサポート教室「きらり」新千葉校

利用児童数

64

回収数:

48

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	12	2	0	遊びの声が気になる。	同じ時間に利用しているお子さんが学習に取り組んでいる時は、大きな声を出さないよう配慮していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	43	5	0	0	お楽しみの時間に先生がおらず、遊べないことがあると残念そうにしている。 ただ、かわりに勉強の時間を短くして遊ぶ時間を取るのには、せっかく勉強しにしているので、もったいない気がしてしまいます。	お子さんが一人になる時間を可能な限り減らしていきます。学習を頑張ったご褒美の時間も大切にしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※ 1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	41	7	0	0		視覚的な刺激になるものを排除し、必要な情報を取得しやすいような環境作りに努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	44	2	2	0	もう少し静かな環境だと良いと思う時があります。	他のお子さんに配慮しながら、活動中は必要以上に大きな声を出さないよう配慮していきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	44	4	0	0		専門的な支援を行える職員を配置し、事業所内の研修などを通して、スキルを習得できるようにします。
	6	事業所が公表している支援プログラム(※ 2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	42	2	0	4		HPに公表されている支援プログラムに基づいて個別支援計画を立て、支援内容に活かしていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	46	2	0	0		お子さんと保護者のニーズを尊重しながら、客観的な視点で個別支援計画の内容について提案していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	44	4	0	0		「家族支援」「移行支援」についても、個別にご要望があった際は具体的な支援内容を設定するようにします。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	40	6	0	2		放課後等デイサービス計画にそった個別支援計画を立て、それに沿った支援が行えていることを分かりやすくします。
	10	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	42	6	0	0		職員間で情報共有をしながら、活動プログラムを適宜見直していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	15	19	6	きらりでは必要としていない。	ご要望があれば対応していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	46	2	0	0		安心して利用していただけるよう、丁寧に説明するよう努めます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	44	4	0	0		支援内容の説明の際に「放課後等デイサービス計画」を示すよう努めます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	16	8	11		ペアレントトレーニングについては、積極的に取り入れていけるよう準備していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	44	4	0	0		支援後の「フィードバック」の時間や面談等を利用して、お子さんの状況についての共通理解を深めていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	38	8	2	0		定期的に面談を実施できるよう計画していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	44	4	0	0		お子さんや保護者の皆さんのニーズを尊重し、思いを反映させた支援を提供していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	2	16	17	13		ご要望があれば対応してしていきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	43	5	0	0		ご相談や申入れがあった際に、迅速かつ適切に対応できる体制を整えていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	44	4	0	0		個別のやり取りについてはLINEで行っていますが、対面での意思の疎通が必要な際は、できる限り場所と時間を配慮していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29	9	0	10		事業所の直近の情報が確認できるよう、HPやSNSを積極的に活用していきます。自己評価の結果は適切に公表します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	44	2	0	2		引き続き個人情報の取扱いに留意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	39	3	0	6		各種マニュアルは策定されており ます。 利用者が閲覧、確認できるような対応を検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	10	0	12		利用者が参加できるような訓練を計画していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	39	3	0	6		虐待防止の観点だけでなく、様々な視点から安全の確保を捉え、安心して利用していただける環境を整えていきます。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33	6	0	9	事故や怪我が起きたことがなく、未然に防ぐ配慮をしていただいていると思います。	事故に至らない場合でも、転倒や軽い衝突等が起きた時は、必ず保護者の方に報告するよう努めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	46	2	0	0		引き続き、安心して利用していただけるよう環境を整えていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	31	17	0	0		楽しみに通っていただけるよう、活動内容を工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	42	6	0	0	内容には満足しています。もう少し通所回数が増えると助かります。	より多くの方が利用できるよう調整しております。追加のご利用希望があったときは、随時ご案内するようにしています。

従業者向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・学習メインのお子さんのみであれば問題ない。 ・粗大運動等の活動をするお子さんがいる場合には、適切とは言いにくい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・コントロールできる音（話し声やタブレットの音量等）は調整するよう声をかけている。 ・放デイのお子さんが触ると、パーテーションが倒れる可能性がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・全員が十分参画できているとは言えないが、情報共有は行えている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・事業者評価表に基づいて改善を図っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・事業者評価表に基づいて改善を図っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・事業所側から外部評価を依頼することはないが、今年度は行政の運営指導を受けている。指摘事項については改善案を提示し報告している。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人内研修は全員が受講している。 ・人手不足により、外部研修は十分受講できていない。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・お子さんによっては、支援内容の根拠が曖昧なものがああったが、個別支援計画の更新に合わせて、支援プログラムも見直している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・基本的には個別療育だが、イベントを開催することで集団活動の機会も作っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援開始前にできないこともあったが、その分、他の時間で確認を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・担当者会議は基本的に事業所内の職員で行っているが、必要に応じて事業所間連携会議を開催している。 ・保護者の希望やこどもの状況に応じて、今後も適宜対応していきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	・学校については保護者の要望に応じて適宜連携を行っている。 ・地域の保健、医療機関とはまだ連携できていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・全ての学校と情報共有できてはいないが、保護者やこどもとの会話の中で話題に上がったことについては、把握するよう努めている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	・ご要望があれば対応したい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	・今後ご要望があれば対応したい。 ・直接携わったことがなく、わからない。 ・放デイから障害福祉サービス事業所へ移行する児童がまだいない。就労選択支援についての説明会を開催予定。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	・児童発達支援センターとの連携はできていない。 ・療育センターも含めて今後相談できる関係性を構築していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・地域のこどもたちとの交流は特に行っていない。 ・ご要望があれば検討したい。

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		○	・参加したことはない。案内があれば参加を検討したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・家族支援プログラムについては検討中。その他、家族で参加できるイベントについては周知するようにしている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・保護者同士の交流の機会については特に要望はない。 ・今後声が上がらようであれば検討したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・事業所の行事に地域住民を招待することはしていない。 ・通所しているこどもたちの特性上、難しいと考えているが、ご要望があれば検討したい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・契約時に食物アレルギーについて個別に確認している。 ・基本的に食べ物を提供することはないが、イベントでお菓子や飲み物を出す時は、あらためて保護者に確認している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・自分の言葉遣いや態度が「不適切なケア」に当たらないか、事業所内研修等で常にセルフチェックできるような工夫を行う。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		